

平成30年11月16日
神奈川県剣道連盟

神奈川県称号審査会・受審者講習会の開催について

1 剣道(称号審査)関係

- ・ 神奈川県称号審査会・受審者講習会の開催について
- ・ 称号 県審査受審要領
- ・ 剣道錬士・教士称号審査会 受審申告書 (県剣連会長宛)
- ・ 錬士 受審申請書(本人用) (全剣連提出用)
- ・ 錬士 受審申請書(本人用) 特例錬士用 //
- ・ 錬士 候補者推薦書 特例錬士用 //
- ・ 特例錬士を受審される方は、資格等の事前審査を行いご本人に連絡いたしま
- ・ 教士 受審申請書(本人用) (全剣連提出用)

2 日 程 締め切り日等

区分	開催日時	場 所	<県剣連締切日>
神奈川県称号審査会	2月9日(土) 9:00 ~ 12:00	県立武道館	1月10日(木)県連事務局必 着
受審者講習会(座学)	2月9日(日) 13:00 ~ 15:00	県立武道館	
<全剣連> 教士 筆記試験	教士号の筆記試験日 平成31年4月13日(土) 受付12:30~13:00 試験開始13:30 :試験会場 東京都・兵庫県・福岡県		
	試験方法については、全剣連月刊「剣窓」及び全剣連HPにも掲載		

以上

平成30年11月16日
神奈川県剣道連盟

剣道・居合道・杖道 称号審査 受審者講習会 (座学) の開催について

掲記の件につきまして、全剣連の称号審査で当県よりの受審者が不合格となるケースがあり、剣道連盟では全員合格を目標に受審者全員(一部除く)に講習会出席を制度化しました。

従いまして <神奈川県剣道称号審査会受審者>は、講習会出席が必須(一部除く)となりますので、申し込みは不要です。

尚、受審予定者以外で講習会を受講されたい方、<居合道部><杖道部>で受講される方は、下記用紙でお申し込みの上、講習会当日会場で受講料をお支払い下さい。

記

- 開催日時 : 平成31年2月9日(土) 13:00 ~ 15:00
- 開催場所 : 県立武道館 大・小会議室
- 担当講師 : 教士八段 田島東海男 先生
 - 錬士号 : 提出論文への取り組み方、まとめ方・・・等
 - 教士号 : 筆記試験の勉強法、試験問題の要点解説・・・等
- 受講料 : 1,000円 2月9日(土) 講習会当日 会場にて納入して下さい。
- 申込締切 : 平成31年1月10日(木) 剣道連盟事務局必着の事

-----、きりとり -----

神奈川県剣道連盟 事務局 宛 <FAX 045-321-6176>

受講者 : なし 受講者が居ない場合も必ず連絡して下さい

受講 申し 込み 書	1		才	男・女
	2		才	男・女
	3		才	男・女
	4		才	男・女
	5		才	男・女

_____ 支部

担当者:

電話:

FAX :

受講料 1,000円/人 : _____ 円

以上

神奈川県称号審査会(剣道：錬士・教士)受審要項

1. 県称号審査会 : 平成31年2月9日(土) 9:00 集合(厳守) 県立武道館 剣道場
 称号審査講習会 // 13:00 開始予定 // 大・小会議室
 (受審者の人数により終了時間が変更になる場合もあります)
2. 受審申請資格 : 添付の「受審要項」を参照して下さい。
3. 申し込み締切 : **平成31年1月10日(木) 剣道連盟事務局必着** (受審料は所定の口座にお振込下さい)
4. 提出書類等

項	内容	以下の書類に自筆で記入し、所属支部剣連に申し込む	錬士		教士
			一般	特例者	
1	受審資格	県剣道錬士・教士称号審査会 受審申請要項を満たしている者	○	○	○
2	提出書類	剣道称号審査会 受審申告書……………県剣道連盟会長宛	○	○	○
		資格証明資料を添付……………会員証・受講証明等のコピー	○	○	○
		錬士受審申請書(本人用)……………段位様式第5号様式	○		
		特例 錬士受審申請書(本人用)……………段位様式第9号様式		○	
		特例 錬士候補推薦書……………段位様式第10号様式		○	
		※ 特例 錬士申請者は、資格等の事前審査を行い受審の可否をご本人に連絡いたします。			
		錬士 提出小論文……………<称号審査講習会>受講後に作成提出 提出締切日:全剣連より要項届き次第連絡いたします。	○	○	
		教士受審申請書(本人用)……………段位様式第4号様式			○
		社会体育指導員認定者(中級・上級)……………認定書のコピー	○	○	○
3	受審料	県審査会審査料……………受審申し込みの際各支部に納入	8,000円		12,000円
		全剣連審査料……………当日<県審査会合格者>は 会場係員に納入	7,000円		10,000円
4	装具等	剣道着・袴・剣道具・木刀(大・小) 持参して下さい	○	○	○

5. <全剣連> : 教士号の筆記試験日 平成31年4月13日(土)受付12:30~13:00 試験開始13:30
 教士号審査 : 試験会場 東京都・兵庫県・福岡県
 試験問題 : 全剣連 剣窓・HPにも掲載されます

6. 添付資料 : ① 神奈川県剣連資料 錬士・教士 称号審査申請資格・県称号審査受審要項
 : ② 申請書類 県剣連提出用 ×1種類 ・ 全剣連提出用 ×4種類

※ 申請書類は必ず添付の用紙をコピーして申請して下さい。旧形式の書式やFAXで受信した用紙は使用出来ません。

神奈川県剣道連盟
 平成13年 4月 1日改定
 平成16年 6月24日改定
 平成17年12月15日改定
 平成20年12月 4日改定
 平成23年12月 1日改定
 平成24年 4月 1日改定
 平成26年12月 1日改定
 平成28年 6月 9日改定

神奈川県称号審査会(剣道 錬士・教士)申請資格 受審要項 (一部改定)

*** 受審規程の実施期間は 平成28年9月～平成31年2月 までとする。**

<剣道 錬士・教士 審査受審規程>

＜神奈川県剣道連盟 審査規程＞						＜全剣連＞
称号	受審資格	受審日以前〔2年間〕に県剣道連盟主催以上の講習会に参加し、 剣道手帳に規程回数を受講印のある者 (錬士・教士 共通)				審査規程
		日本剣道形 講習会	審判法 講習会	指導法 (合同稽古会)	審判経験 指導歴	
錬士	六段取得後 1年 を経過した者	1 回以上	1 回以上	1 回以上	無し	論文提出
	<特例> 五段取得後10年 を経過 年令 60才以上の者	1 回以上	1 回以上	1 回以上		
	六段 取得後 1年 を経過した者で、 全剣連 社会体育指導員資格(中、上級)認定者	<免 除>	1 回以上	1 回以上		論文提出 <免 除>
教士	錬士七段取得者で、七段取得後 2年 を経過した者	1 回以上	1 回以上	1 回以上	「指導歴」 受審申請書類に記入し 各支部会長の承認を受ける	学科試験
	錬士七段取得者で、七段取得後 2年 を経過し、 全剣連 社会体育指導員資格認定者	社会体育 中級、上級 <免 除>	1 回以上	1 回以上		社会体育上級 <免 除>

<神奈川県称号審査会(剣道 錬士・教士) 審査項目・講習会>

区分	日本剣道形	審判法	講習会(座学)	
錬士	打太刀・仕太刀 両方行う	(主審：1回)(副審：2回)を行う	全剣連審査に 向けての講習を 全員受講	社会体育(中・上級)認定者 <免 除>
教士	指定された何本目かを 解説しながら行う	(主審：1回)(副審：2回)を行う		社会体育(上級)認定者 <免 除>

平成 年 月 日
受審者 印
(印)

剣道 錬士・教士 称号審査会 受審申告書

(錬士・教士 ○印を記入)

全剣連番号 :
生年月日 : 大・昭・平 年 月 日 (才)
現段位取得日 : 段 大・昭・平 年 月 日 登録 都道府県
錬士号取得日 : 大・昭・平 年 月 日 登録 都道府県

◎ 受審申し込み以前 2 年間の講習会受講状況

剣道形 : 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)
(1回以上) 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)

審判法 : 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)
(1回以上) 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)

指導法 : 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)
(1回以上) 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)

◎ 指導状況(教士受審者のみ記入)

指導場所名称 : 対象 小・中・高生・一般 週 回 月 回
指導場所名称 : 対象 小・中・高生・一般 週 回 月 回

◎ 全剣連(社会体育指導員 中級以上) 認定証のコピーを添付して下さい

平 年 月 日 (認定)
平 年 月 日 (認定)

上記内容を承認します

氏名

支部剣道連盟会長

印

申請番号

全剣連称号・段位様式第 5 号

平成 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。

*申請番号は若年順に記入する。

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

錬士 受審申請書 (本人用)

*該当するものに○印をする。

(申請都道府県剣道連盟)

剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

	フリガナ		フリガナ
1 受審者氏名	印	(旧姓)	
2 生年月日	年 月 日 生	年齢 満 歳	
3 性別	男 ・ 女		
4 取得称号・段位	段 位	段	
取得年月	年 月		
登録県名	登録県名		
5 全剣連番号			
6 住所	〒		
7 電話番号		携帯番号	
8 職業			
9 全剣連社会体育 中級認定年月	平成 年 月 認定		

※認定者のみ記入。

特例錬士

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

*該当するものに○印をする。

錬士 受審申請書 (本人用)

(申請都道府県剣道連盟)

剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第2項(五段受有者)]に基づき、道錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

1 受審者氏名	フリガナ [] [] 印 (旧姓)	フリガナ [] []
2 生年月日	年 月 日生	年齢満 歳
3 性別	男 ・ 女	
4 取得 段 位	段 位	五 段
取得 年 月	年 月	
登録 県 名	登録県名	[]
5 全剣連番号	[]	
6 住 所	〒 []	
7 電話番号	[]	携帯番号 []
8 職 業	[]	
9 賞罰の有無	[]	
10 全剣連社会体育 中級認定年月 ※認定者のみ記入。	平成 年 月 認定	

全日本剣道連盟
会長張 富士夫 殿

特例錬士

1. 剣道
2. 居合道
3. 杖道

*該当するものに○印をする。

剣道連盟

会長

印

錬士候補者推薦書

今般、下記の者を全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第2項（五段受有者）]に基づき錬士候補者として特に推薦いたしますので、審査願います。

フリガナ 氏名 生年月日 本籍	年 月 日 満 歳	全剣連番号	[職業]
		性別 男・女	
現住所	〒		[連盟役員]
五段取得 年月日	年 月 日	五段取得 剣道連盟	[最終学歴]
[職歴]			
[剣歴]			
[斯道への功績]			
[剣連認定講習会実績]			

[推薦の特別な理由]

◎楷書・箇条書で正確にこの用紙内に記入してください。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号
平成 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。

*申請番号は若年順に記入する。

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

教士 受審申請書 (本人用)

※ 試験会場

*該当するものに○印をする。

※社会体育上級認定者（追認者除く）は
上記試験会場の記入は不要。

(申請都道府県剣道連盟)

剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

印

(旧姓)

2 生年月日

年	月	日生	年齢 満	歳
---	---	----	------	---

3 性別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

称号	錬士	段位	段
取得年月	年	月	年 月
登録県名	登録県名	登録県名	登録県名

取得年月

登録県名

5 全剣連番号

顔写真を貼っ
てから提出し
てください
(3 cm × 4 cm)

6 住所

7 電話番号

	携帯番号	
--	------	--

8 職業

現職		前職	
----	--	----	--

※出来るだけ具体的にお書きください。(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育
上級認定年月

平成 年 月 認定

※上級認定者のみ記入

[剣 歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。